



〒364-0003 北本市古市場 1-36
 TEL/FAX 048-591-5762
 携帯 090-8848-8465
 Email tatsumi3@gmail.com
 URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>

1965年北本生まれ。
 北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。
 三国コカ・コーラボトリング入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。
 衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在2期目。

北本を消滅させない！

安心・安全なまちづくり
 財政の健全化
 行政改革の推進

日頃よりあたたかいご支援をいただきありがとうございます。9月議会は、「平成28年度北本市歳入歳出決算の承認について」や「平成29年度北本市一般会計補正予算（第3号）」などを審議しました。

【平成28年度北本市一般会計歳入歳出決算】

	平成28年度	平成27年度	増減	前年比
歳入決算額	20,352,814,769円	19,931,028,329円	421,786,440円	2.1%
歳出決算額	19,525,222,906円	19,030,376,992円	494,845,914円	2.6%
歳入歳出差引額	827,591,863円	900,651,337円	-73,059,474円	-8.1%
翌年度へ繰越すべき財源	89,481,133円	23,200,760円	66,280,373円	285.7%
実質収支額	738,110,730円	877,450,577円	-139,339,847円	-15.9%

【平成29年9月議会トピックス】

○平成28年度北本市一般会計歳入歳出決算の承認について

平成28年度は、予算編成から執行までを現王園市長が行った初めての年度です。また北本市財政計画も策定しました。単年度で見た場合、決して悪い決算内容ではありませんが、これから社会保障費や公債費等が増加し、一方で市税の減少が見込まれる中では、楽観することはできません。

現状の財政の健全化判断比率については、実質公債費比率は4.6%（イエローカードの基準は25.0%）、将来負担比率は42.5%（同350.0%）であり、基準を下回っています。しかしながら、過去に行ってきた学校耐震化や大規模改修等での起債の影響で、今後はこれらの指標も増加傾向が見込まれますから、更なる適切な財政運営が求められるところです。今後は老朽化した公共施設の更新も控えていますので、公共施設等総合管理

計画の策定により効率的かつ効果的な運営が求められます。

○市長の給料の特例に関する条例の制定について

市長の給料を減額する条例案が追加議案として提出されました。提案の理由は、5月の臨時議会で市長の問責決議が可決されたことを重く受け止め、市政をあずかる責任者として、今後の市政運営を行うにあたり、自らを律するためということです。また、提案された内容は、市長の給料の月額について「100分の10」を「6か月間」減ずるというものです。

これに対して議会としては、今後の市政運営を考えるのであれば、市長がその職にある期間と給料の減額の期間を合わせるべきであると考え、「6か月間」から「市長の職にある期間」に修正のうえ、全会一致で可決となりました。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

1. 北本駅東口市有地宿泊施設整備事業提案審査委員会について

（問）審査における合格の最低ラインと今回の事業者の評価点は何点か。

（答）最低ラインは350点、事業者の評価点は355点です。

（問）議事録には、事業者のやる気を評価する発言が散見される。やる気が評価されて合格したのではないか。

（答）合格基準をクリアするために、やる気や熱意を採点に加点するようなことはございません。

（問）資金計画が脆弱だと指摘はなかったのか。

（答）委員会では特段の御指摘はございませんでした。

（問）事業者はデリバティブで7,500万円もの損失を出している。委員会の中でデリバティブの取引について指摘はあったのか。

（答）委員会の中におきまして、特段の指摘はございませんでした。

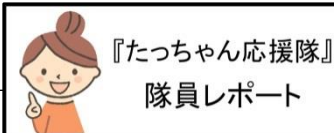
ホテル誘致を判断する審査委員会について質問しました。合格ぎりぎりの評価点でした。資金計画や営業計画などについて、審査が不十分な印象を受けます。

2. 北本市日常生活用具給付事業について

（問）この事業はどのようなものか。

（答）日常生活用具給付事業は、重度の障害をお持ちの方の日常生活がより円滑に行われるための用具を北本市日常生活用具給付事業実施要綱に基づき、給付または貸与する制度です。

（問）実施要綱に人工喉頭はあるが、具体的な記載はない。現状で使える人工喉頭



『たっちゃん応援隊』
隊員レポート

大島たつみ議会報告第19号トピックスで取り上げた駅東口駐車場に関する条例について、その後の臨時会でどんでん返しの可決となりました。駐車場・トイレ廃止の代替案、ホテル建設についての市民への説明、市有地事業用定期借地権設定契約の内容の検証等、もっと丁寧に進めてほしいと思います。
一般質問では相談者に実際に傍聴に来てもらい市の担当課へも直接要望を届けることができました。

には、どのような種類のものがあるのか。

（答）一般的に笛式と電気式と呼ばれます品目が給付の対象となっており、人工鼻は現在対象としておりません。

（問）人工鼻も対象にならないか。

（答）給付対象として加えられるか検討をしてみたいと考えております。

日常生活用具も日々進化していますので、変化への対応も必要です。他の自治体では利用できても、北本市では利用できないものがあります。利用者の視点に立った実施要綱の見直しを求めました。

3. ふるさと納税について

（問）平成28年度のふるさと納税の実績は。

（答）寄附実績は40件、294万8千円です。また、寄附金額より控除額が大きく上回っている状況です。

（問）ふるさと納税を増やすために、どのような対応をしているのか。

（答）5種類であった返礼品を本年7月から25種類に拡大しました。また、今後は民間のふるさと納税ポータルサイトの有料サービスを活用し、自主財源の確保に努めてまいりたいと考えております。

（問）市外に住んでいる職員の方に、北本市へふるさと納税をしていただけたらどうか。

（答）今後、職員に向けて本市のふるさと納税に係る情報を提供し、寄附を促進することを検討してみたいと考えています。

ふるさと納税では成功している自治体も多くあります。北本市としても財政に寄与するよう対応が求められます。

【あとがき】

平成29年第4回定例会は、11月29日（水）から12月15日（金）の予定です。今後も皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。

